

オレンジハート

社協だより

号外

平成23年8月15日発行

編集・発行

ふれあいネットワーク

社会福祉法人

南相馬市社会福祉協議会

〒975-0011

福島県南相馬市原町区小川町322-1

TEL 0244-24-3415

FAX 0244-24-1271

http://www.m-somashakyo.or.jp

shakyo@m-somashakyo.or.jp

印刷：有限会社 愛原印刷所



▲側溝の泥出し作業(鹿島区)

ふるさと再生を目指して



社会福祉法人
南相馬市社会福祉協議会
会長 門馬 秀夫
もんま ひでお

三重も四重もの苦しみの中におられる市民の皆さまに心からお見舞いを申し上げます。

恐怖に震えたあの日から、間もなく半年を迎えるというのに、いまだに先の見えないこの苦しみは、南相馬市に住む私たちだけが共有する苦しみとなりました。

海辺に住んでいた人も山手の方に住んでいた人も、町の中で暮らしていた人たちも、全ての人が苦しんでいるこの姿は、あの豊かであった我が故郷がだんだん薄くなっていくような気がしてならないのです。

ある方が「これは天罰」と評しました。何という言葉でありましょう。このような人が社会のリーダーであるという現実には、呆れるしかありませんでした。

災害ボランティアセンターを訪れて、被災地を慰めようと、遠隔の地から多い日には、500人ものボランティアが来てくれました。

「福井の小浜から車で参りました。」

「熊本の人吉から新幹線で参りました。」

「奈良からです。」

「岐阜の郡上です。」

私はこの声を聞き、この姿を拝見してただ驚き、

只々、頭を垂れるばかりでありました。そしてこの気高い『無給の善意』に報いるためには、故郷の再生しかない。どん底から立ち上がって、明るく、平和な地域社会の建て直しをしなければならぬと決意しました。

皆さん。「ふるさと再生」を合言葉にして、頑張ろうではありませんか。

ボランティア活動人数・件数

(平成23年7月31日まで)

○活動人数(延べ人数)

鹿島区 7,304人 (県内2,329人、県外4,975人)
 原町区 12,626人 (県内4,081人、県外8,545人)
 計 19,930人 (県内6,410人、県外13,520人)

○活動件数(ニース件数)

鹿島区 460件
 原町区 1,348件
 計 1,808件

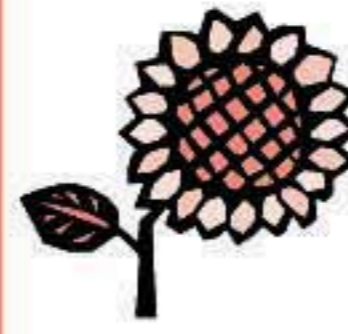
※活動内容

- ・ガレキ撤去、側溝の泥出し作業
- ・流出物(写真など)洗浄・展示会場作業
- ・避難所運営補助
- ・支援物資の仕分け作業
- ・託児、学習支援など
- ・仮設住宅支援(布団の搬入など)
- ・ボランティアセンター運営スタッフ

南相馬市災害ボランティアセンター報告

平成23年3月11日に発生した東日本大震災により、本市でも多くの被害を受けました。

本会では、全国からの支援を被災地に広げ、災害支援を行なうために、南相馬市災害ボランティアセンターを鹿島区と原町区に立ち上げました。活動状況は、左記の通りです。



▲真野小学校(鹿島区)

ボランティア活動の流れ

資材等準備



作業に使う資材などの準備

マッチング



作業の紹介、内容の確認

オリエンテーション



作業中の注意点などを説明

受付



ボランティア登録、保険加入

準備ができたら出発!

ボランティア活動



ボランティアセンター

活動報告

作業内容、問題点、活動中に気が付いた点などを報告



お疲れ様でした!

災害ボランティアの皆さんありがとう！

地震発生後、全国から、多くのボランティアの方々が、本市に駆けつけてくれました。震災当初は、生活物資の入手が困難だったため、全国各地から送っていただいた支援物資を、ボランティアの協力で要介護者の方などへ届けました。



▲多くのご支援をありがとうございました

幼稚園や保育園が開いていない震災後の時期に、働くお母さんから、要望を受けて、鹿島区の浄圓寺で「託寺」、原町区の常福寺で「なんだべ寺子屋」を開設しました。



▲笑顔の子どもたち(託寺【鹿島区浄圓寺】)

家に閉じこもり、自由に遊べなかった子どもたちは、広いお寺で、ボランティアのお兄さん、お姉さんと笑顔で遊んでいました。

現在も、ボランティアの皆さんは、炎天下の下、額から大量の汗を流しながら、必死で活動を行ない、地震や津波で被害を受けた家屋のガレキ



▲ガレキを撤去し、土袋で運搬

撤去や側溝の泥出し作業、支援物資の仕分け作業など南相馬市の復興に当たっています。



▲床下の泥出し作業

思い出の品を持ち主の元へ

津波の被害で、自宅から流出してしまった写真や卒業アルバムなどの流出物を、洗浄し、持ち主にお返しする作業を、ボランティアの方々が続けています。



▲流失物には賞状やランドセル、位牌などもあります

水や泥を被って損傷の激しい流出物を、刷毛などを使用し、汚れを落とす作業をしています。

活動しているボランティアの方からは、「全国各地から南相馬市を応援したいという気持ちでボランティアが集まっています。この流出物には、それぞれの持ち主の思いが詰まっています。少しでも早く、持ち主の元に戻れば良いと思います、活動を続けていきます。」と想いを伝えてくださいました。

流出した思い出の品を展示しています

津波で、流出した写真や賞状、位牌など、ボランティアの方が洗浄した物を左記のとおり、展示しています。

心当たりがある方は、お問合せください。

※鹿島区及び原町区小沢、小浜行政区以外で発見されたもの
柔剣道場
(原町区栄町2-42)

◆受付時間
午前9時～午後4時まで
(両会場)

◆会場
※小高区及び原町区小沢、小浜行政区で発見されたもの
馬事公苑
(原町区片倉字畔原4-1)

◆問合せ先
※身分証明書(運転免許証など)をお持ちください。
南相馬市役所環境衛生課
問合せ先
☎24-5231

南相馬市の復興へ

「南相馬市生活復興ボランティアセンター」を開設

南相馬市災害ボランティアセンターは、震災から5ヶ月が経過し、市民の皆さまの生活環境の変化や、仮設住宅へ入居されている方への総合的な復興支援を行なうために、平成23年8月1日より「南相馬市生活復興ボランティアセンター」に名称を変更し、下記の活動を推進していきます。

▼被災者の生活支援
生活復興に向けた相談、情報提供

▼見守り活動
引きこもりなどを防止するための戸別訪問

▼地域の絆づくり
仮設住宅の入居者や地域住民を対象としたサロン活動

▼生活支援・災害復旧活動に関するボランティア受付業務
地震や津波で被害を受けた自宅のガレキ撤去や側溝の泥出し作業など

問合せ先 南相馬市生活復興ボランティアセンター

〔本部〕
〒979-2334
南相馬市鹿島区西町2丁目117
鹿島区福祉サービスセンター内
TEL: 0244-46-1058

〔支部〕
〒975-0011
南相馬市原町区小川町322-1
TEL: 090-2852-6483

(受付時間: 9:00~17:00)

〔ホームページアドレス〕 <http://minamisoma.jimdo.com/>



サロンの様子
ご参加をお待ちしています！

応急仮設住宅などにお住まいの方 生活支援相談員がお伺いします

仮設住宅などに入居されている方の見守りや引きこもりなどの防止、生活復興に向けた支援などを目的として、生活支援相談員が、仮設住宅などを訪問します。

仮設住宅内だけではなく、近隣住民や民生委員・被災者支援を行なう専門職や関係機関と連携を図り、地域のコミュニケーションづくりを推進します。

また、仮設住宅などの入居者が集い、お茶を飲みながら、交流できるサロン活動などのイベントを実施します。

◆問合せ先
鹿島区福祉サービスセンター内
生活支援相談室
090-2852-6812

私たちがお伺いします！



左上から、鈴木信茂、藤原隆司、大堀 浩、秩父重弘、遠藤 英、佐藤和哉、打田千晶、濱名智佳子、高野和子、黒木洋子、福島道子、福島祐子

認知症相談会

認知症の人と家族の会では、毎月認知症についての相談会を実施しています。

お気軽にご相談ください。

日時
平成23年9月9日(月)

午後1時30分～
午後3時30分

会場
原町区福祉会館 相談室

◆問合せ先
☎23-4519 荒まで

編集後記

今回の震災で、全国各地のボランティアの方と出会うことができました。しかし、出会いがあれば、別れあり。ボランティアの方が帰る際に、「本当に、南相馬市はいいところでした。また、必ず帰って来ます！頑張ってください！」と一言添えていただきました。そして、お互い涙を流しながら、多くの方と握手を交わしてきました。この震災で、本当に学べたことは、人のやさしさと繋がりがだと感じます。必ず、本来の南相馬市の姿を取り戻しましょう！

(T・S)

「まごころひろば」は、平成23年9月15日号から掲載します。